

平成 30 年度

# 福祉部の運営方針

<部の構成>

福祉総務課、生活福祉室、障害福祉室、福祉指導監査課

<担当事務>

- (1)福祉に係る施策の企画、調整及び実施に関すること。
- (2)民生委員・児童委員及び保護司会に関すること。
- (3)生活保護に関すること。
- (4)生活困窮者の自立支援に関すること。
- (5)障害福祉に関すること。
- (6)福祉関連法人の指導監督等に関すること。

<部の職員数>H30年4月1日現在

正職員	122名
再任用職員	8名
任期付職員	14名
非常勤職員	29名
合計	173名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

本市の健康・福祉推進都市宣言（平成6年）にあるように「老いも若きも障害のある人もない人も、すべての市民が人として尊ばれ、住みなれたまちで安心して健やかに暮らす」ためには、住民と事業者、行政が相互に協力し、地域課題の対応にも連携を図りながらそれぞれの役割を積極的に果たすといった、地域福祉の推進を図ることが極めて重要です。

「生活困窮者自立支援制度」のスタートや「障害者差別解消法」の施行、「社会福祉法」の改正など、福祉制度を取り巻く情勢が刻々と変化する中、「枚方市地域福祉計画（第3期）」をはじめ、平成30年3月策定の「枚方市障害福祉計画（第5期）」や「枚方市障害児福祉計画（第1期）」も含む福祉関連計画の進捗管理や相互連携のもと、着実に福祉施策を推進していきます。

また、だれもがより安心してサービスを利用できるよう、福祉関連法人への指導監督業務を通じ、福祉施設等の適正管理と安定的な運営体制を確保することで、福祉サービスの質の向上を図ります。

## 2. 重点施策・事業

### （1）地域福祉の推進

方向性	あらゆる世代の人が健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、多様化・複雑化する生活課題を抱える人への支援体制の充実や環境整備、不足する地域福祉活動の担い手の育成支援など、地域福祉の推進に取り組みます。
取り組み	枚方市地域福祉計画（第3期）に基づき、民生委員・児童委員や社会福祉協議会といった関係機関等とも連携しながら、地域福祉課題の把握に向けた取り組みに努めるとともに、計画の進行管理を行います。 《目標値》 コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）延べ相談件数：9,016件

## (2) 生活困窮者の家計相談支援

方向性	相談者と共に家計の状況や課題を整理し、生活の再生に向けた意欲を引き出した上、必要な助言や情報提供を行うことで、相談者の家計管理の能力を高め、早期の生活再建に向けた支援を行います。
取り組み	ファイナンシャルプランナー等の資格を有する家計相談支援員1名を生活福祉室内自立相談支援センターに配置し、相談者に寄り添った支援を毎月2回、午後から予約制にて実施します。 《目標値》 支援対象者10名 平成30年度当初予算：40万2千円

## (3) 枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）に基づく障害者施策の推進

方向性	平成30年3月に策定した枚方市障害福祉計画(第5期)や枚方市障害児福祉計画(第1期)に基づき、障害者の自立支援及び社会参加に係る取り組みや、障害児へのサービス提供体制の整備といった、障害者施策のさらなる推進に努めます。
取り組み	計画に定めた障害福祉サービスの見込み量や整備の方向について、進捗管理や状況把握に努めるとともに、成果目標として設定している「地域生活支援拠点の整備」や「障害者の就労支援策」及び「医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置」などについて、検討していきます。 《目標値》 福祉施設から一般就労への移行者数 66名（平成32年度）

## (4) 法令等の改正への的確な対応

方向性	平成30年度の大規模な介護保険及び障害福祉サービスの省令改正及び報酬改定に対する的確に対応するとともに、サービス毎の集団指導等の実施により、事業者への情報発信に取り組みます。また、新たな制度内容を指導監督業務に反映させ、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制の確保につなげることで、福祉サービスの質の向上を図ります。
-----	---

取り組み	<p>介護保険サービス及び障害福祉サービスにおける新たな基準については、指導監査業務等に反映し、事業者の適切なサービス提供につなげます。</p> <p>介護保険・障害福祉サービス事業の報酬改定等に的確に対応するため、国等への情報収集力を高めます。</p> <p>平成 29 年度に実施された社会福祉法人制度の大幅改正については、引き続き実地監査において周知に努めます。</p> <p>平成 31 年度から法改正により、障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援）の指定及び業務管理の権限委譲が実施されるため、それに向けた情報収集と準備に努めます。</p>
------	---

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	外郭団体等経営評価員の指摘等を受け策定した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に沿った取り組みを行うとともに、枚方市社会福祉協議会が策定した経営戦略プログラムの進捗管理等により、経営健全化の促進に向けた連携・協力に取り組みます。
23. くすの木園のあり方の検討	平成 32 年 4 月の民営化に向けて、運営法人の選定を行います。

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートの実施や窓口マニュアルの活用により、市民満足度の向上に努めます。また、障害福祉室で作成した「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害のある市民への適切な対応に努めます。
ペーパーレス化の徹底	市民からの各種相談対応からサービスの提供まで、福祉制度に関する広範囲な業務を実施しており、各業務に係る印刷物も膨大となりがちであることから、両面・冊子印刷やメール機能、紙の電子化等の活用により、部内全体でのペーパーレス化を徹底します。
指導監査業務の標準化	福祉制度に関する情報収集に取り組みながら、業務マニュアルの見直しや、職員間での情報の共有化を定期的に行います。

## 4. 予算編成・執行

- ◆生活保護費や障害福祉サービスなど社会保障関連経費の増加が予想される中、事業の精査を行い、必要な財源の確保に努めながら予算編成を行いました。
- ◆昨年度に引き続き、生活保護の実施体制等の強化を図るための「生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」等の国庫補助金を活用するなど、必要な財源確保に努めました。
- ◆介護保険事業者の指定等に係る手数料を徴収することで、適切な財源確保に努めます。

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆職場の課題や懸案事項等については、グループ単位や担当間の会議、職場での朝礼等を通じて職員間での情報共有を図り、その解決等に向けて組織的に取り組みます。
- ◆人材育成として、専門性の高い知識や経験が求められる業務を中心に職場内・職場間研修に取り組むほか、職場外の専門研修へ職員を派遣するなど、知識の習得や技術の向上を図ります。
- ◆法・制度改正などに的確に対応し、指導監査等の精度を適正に確保するため、他の行政機関との連携による制度研修や事例研究などを通じ、情報共有と指導レベルの標準化を進めます。

## 6. 広報・情報発信

- ◆広報ひらかた、市のホームページ、エフエムひらかた及びリーフレット等様々な媒体を活用しながら情報を発信します。また、即時性が求められる緊急情報や制度改正などについては、ホームページの特性を生かし、分かりやすくタイムリーな情報発信に努めます。
- ◆昨今のスマートフォンやタブレットの普及に鑑み、市からお知らせする文書やパンフレットにQRコードを掲載するなど、福祉に関する情報を身近に接することのできる環境の整備に努めます。
- ◆障害福祉室では、障害者差別解消のためのイベントや、出前講座を活用した地域への周知活動などを通じて、市民意識の啓発・向上に努めます。